

ぐんまこどもの国児童会館



2015.4.15
第49号

発行／公益財団法人群馬県児童健全育成事業団

通信



児童福祉週間 5月5日(火)～11日(月)

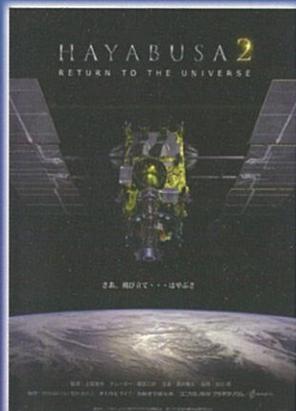
世界には 君の輝く 場所がある こなか あやと
古仲 彩人さん 10歳 千葉県

「児童福祉週間」は、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的として定めた、毎年5月5日「こどもの日」から1週間のこと、児童福祉の理念の普及・啓発のためのさまざまな事業や行事を行っています。

フラネタリウム新番組

新番組

「HAYABUSA2」(一般番組)



©ライブ ©HAYABUSA 2 製作委員会

平成27年3月7日(土)～9月6日(日)

投影時間 平日 15:30～

土日祝・春休み 13:00～、15:00～

はやぶさを引き継ぐはやぶさ2ミッションは、幾度となく先送りされ、一時は実現不可能な所まで追い詰められていきました。しかし、はやぶさ2を応援する多くの人の声が日本中から集まり、ミッションは、実現に向けて大きく動き出します。より大きな推力をを持つ/ionエンジン、沢山のデータを送信できるKaバンドアンテナ、小惑星表面を探査する3機のミネルバ2とMASST、そして人工的にクレーターを作るインパクタ装置。はやぶさ2の機体を紹介しながら、ミッションの詳細に迫ります。そして2014年末、いよいよはやぶさ2はロケットの力を借りて、宇宙に旅立っていきます。再び彼の新しい旅が始まるのです。

特別番組 好評につき延長上映!!

「それいけ！アンパンマン～星の色と空の色～」(特別番組)



平成27年6月7日(日)まで
上映時間 土日祝・春休み 10:00～

©やなせたかし／フレーベル館・TMS・NTV

こども番組 絶賛上映中!!

「ポケットモンスター XY 宇宙の破片」(こども番組)



平成27年6月7日(日)まで
上映時間 平日 14:30～
土日祝・春休み 11:00～、14:00～

©Nintendo・Creatures・GAME FREAK・TV Tokyo・
ShoPro・JR Kikaku
©Pokémon
配給：コニカミノルタプラネタリウム

ゴールデンウィーク企画 「くるりんぱ展～モノのみかたはひとつじゃないよ～」

日 時：4月25日(土)～5月10日(日) 9:30～17:00

会 場：多目的ホール

1998年に出版された絵本(マルタン作)「くるりんぱ」の世界を見て」「触って」「考えて」「作って」大人も子どもも楽しめる体験・参加型の展覧会です。みなさんぜひ、遊びに来てくださいね！



休館日

4月…7日(火)・13日(月)・20日(月)・27日(月)

5月…7日(木)・11日(月)・18日(月)・25日(月)

6月…1日(月)・8日(月)・15日(月)・16日(火)・22日(月)・29日(月)



ぐんまこどもの国児童会館

〒373-0054 群馬県太田市長手町480
TEL. 0276(25)0055 FAX. 0276(25)0059
URL <http://www.kodomonokuni.or.jp/>

移動児童館（プレーバス巡回）事業プログラム



わくわく号 がゆく♪

ぐんまこどもの国児童会館では、児童館での遊びを体験してもらおうと、わくわく号（プレーバス）で県内の公民館や児童館、子育て支援センターなどを訪れています。

造形遊び

●造形あそび

時間 60～90分

対象 幼児（保護者同伴）・小中学生
身近な材料を使って季節の工作を行います。



やきもの体验

●やきもの体验

時間 60～90分 ※1人 400円

対象 幼児（はさみが使える・保護者同伴）・小中学生
白磁やガラスのマグカップを転写紙で飾り付けます。

科学遊び

●シャボン玉であそぼう

時間 60分 ※1人 100円

対象 幼児（保護者同伴）・小学生
手作りの液や枠の製作と、大きなシャボン玉を体験します。（期間 4～10月）



ビリビリ実験

●空気砲であそぼう

時間 60分

対象 幼児（保護者同伴）・小中学生
簡単な実験をした後、ペットボトルで空気砲をつくります。



音の伝わり方

●静電気ビリビリ実験

時間 90分

対象 小中学生
静電気を利用した、実験と工作を行います。（期間：12～2月）

●ミラーキューブ

時間 60分 ※1人 50円

対象 幼児（5才～・保護者同伴）・小中学生
簡単な実験で鏡の原理を体感した後、ミラー紙で鏡おもちゃをつくります。

●音の伝わり方

時間 60分

対象 幼児（5才～・保護者同伴）・小中学生

簡単な実験後、音の伝わり方を体感する工作「ダンシングスネーク」や「タピオカクント管」をつくります。

●科学マジック

時間 60分

対象 幼児（5才～・保護者同伴）・小中学生

簡単な実験の後、マジックにちなんだふしげな工作をします。

集団あそび

●親子遊び

時間 60分

対象 主に乳幼児の親子
歌や手遊び、パネルシアターなどで、親子遊びを楽しめます。



親子遊び

●カブラであそぼう

時間 90～120分

対象 親子・小中学生

カブラ（白木の板）を使って、高さ積み競争や個人制作、かまくら、ナイアガラなどの共同制作に挑戦します。



カブラであそぼう

●ドミノであそぼう

時間 90～120分

対象 親子・小中学生

グループ毎に作ったドミノ作品を最後に繋げて大きな作品にし、倒して完成を楽しみます。



水鉄砲バトル

●集団ゲーム

時間 60分

対象 小中学生

仲間づくりやチーム対抗ゲームを行います。体育館などの広い場所から狭い室内まで可能です。

●水鉄砲バトル

時間 60～90分

対象 小中学生

チーム対抗で勝敗を競います。（期間：7～9月）

映画鑑賞

●映画上映

時間 15～70分

対象 親子・小中学生

アニメや実写など、16ミリ映画を上映します。



利用案内

(1) 対象：県内の児童館、児童センター、公民館、子ども育成会、母親クラブ等、児童健全育成を目的とした団体。（学校、幼稚園、保育園は除く）

(2) 利用日時：当館の開館日 午前10:30～午後4:00までの1～2時間程度

（利用できない日：月曜休館、祝日の場合は翌日。GW、春夏冬休みなど特別事業実施期間）

(3) 費用：交通費及び教材費の一部として、下表のとおりご負担ください。

料金	市町村
1,000円	前橋市、桐生市、伊勢崎市、太田市、館林市、みどり市、佐波郡、邑楽郡
2,000円	高崎市、沼田市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、北群馬郡、多野郡、甘楽町、吾妻郡、利根郡

※プログラムによっては別途実費がかかるものもあります。
(各プログラム欄参照)

(4) 申込方法

1 電話で予約

- 実施希望月の3ヶ月前から実施希望日の1ヶ月前までの予約になります。
- 実施希望日は、第1～3希望日まで、お知らせください。



3 申請書の提出

2 児童会館で調整をし、後日ご連絡します。

4 申請書の承認（受付完了）

5 移動児童館の実施

6 報告書の提出

※申請書・報告書の様式はホームページからもプリントアウトできます。

※多く人に楽しんでいただけるよう、1団体につき年間1回のご利用となります。

<お申込先> ぐんまこどもの国児童会館 TEL: 0276-25-0055

通常のプログラムとは別枠で、移動式プラネタリウム「にこっとドーム」や、地元で活躍する各団体のステージを楽しめる鑑賞事業も実施しています。こちらは日程等詳細が決まり次第、関係団体へお知らせしますので、ぜひご応募ください。



移動式プラネタリウム「にこっとドーム」



鑑賞事業



鑑賞事業



平成27年度 ぐんま子どもの国児童会館 乳幼児向けプログラム

保存版!



いよいよ新年度のスタートです。これから開催される、平日の乳幼児親子向けプログラムを紹介します。

どのプログラムも、当日直接会場まで来てもらえば参加できます。親子でふれ合って遊び、育児についての情報交換や交流を広げるきっかけづくりの場としても活用できます。ぜひ、気軽に遊びにきてくださいね。

おやこサロン【幼児向け】



おやこサロン【乳児向け】

おやこサロン!!

・乳幼児の親子を対象に親子あそび、パネルシアター、歌などで楽しめます。コースにより乳児向け・幼児向けの内容になりますが、年齢制限はしていないのでどの回でも参加可能です。また乳児向けのフリートークタイムでは児童会館相談員スタッフもありますので、育児の相談もお気軽にどうぞ。

時 間 10:30~11:30 (11:00ごろから、「乳児向け」はフリートークタイム、「幼児向け」は自由あそび等の時間になります。)

乳児向け	4/15・5/20・6/17・7/15・9/16・10/21・11/18・12/16・1/20・2/17・3/16	研修室	※全て水曜日
幼児向け	4/22・5/27・6/24・7/22・9/23・11/25・1/27・2/24・3/23	多目的ホール等	

おたんじょうてがた「どれくらい大きくなったかな」 (参加費: 100円)

・色紙に手形をとって、メッセージをかきます。ひとつひとつ大きくなる記念に思い出を残してね。

日 に ち 4/14・5/12・6/9・7/14・8/4・9/8・10/6・11/10・12/8・1/19・2/9・3/8 ※全て火曜日

時 間 受付: 10:15~11:00 会 場 受付: 2階ビデオ・パソコンルームカウンター

実施: ①10:30~/②11:00~/③11:30~(3部制) 実施: 3階第2研修室

対 象 0~3才の親子 定 員 各回 15組(先着順)



子育てサロン こどもの国 (共催: 太田子育て支援ボランティアネットワーク)

・子育てボランティアと一緒に手遊びや歌、読み聞かせ、おしゃべりしましょう。

日 に ち 4/8・5/13・6/10・7/8・9/9・10/14・11/11・12/9・2/10・3/9 ※全て水曜日

時 間 10:30~11:30 対 象 乳幼児とその保護者 会 場 研修室

おはなしひろば

・スタッフやボランティアによる乳幼児向けの絵本の読み聞かせや、図書案内などです。

日 に ち・会 場	4/14・5/12・9/8・1/19	火曜日・第1研修室
	6/3・7/1・10/7・11/4・12/2・2/3・3/2	水曜日・こども図書室

時 間 11:00~11:30 対 象 乳幼児とその保護者



おもちゃの病院のご案内

おもちゃの病院は、こわれてしまったおもちゃを遊べるように修理するところです。当館では、月に一度開院しています。病院の先生は、おもちゃが好きで、子どもたちが大好きなボランティアのみなさんです。

お気に入りのおもちゃがこわれたり、動かなくなってしまったら持ってきてください。無料で診察します。(部品を交換する場合は、実費がかかります)

開院日	H27年 4/19	5/24	6/21
	7/19	8/16	9/20
	10/11	11/22	12/20
	H28年 1/17	2/21	3/20



時 間 10:00~12:00 (時間中随時受付)

場 所 3階 第1研修室

費 用 部品を交換した時の実費がかかります
(500円以内)

*診察できるのは、小学生以下の子どもが使うおもちゃで、1家族2個までです。

玉が飛び出したり、火を使うなど、危険を伴うものは扱いません。

また、おもちゃの性質上取り扱いできないおもちゃもあります。



スペシャル科学工作

～いろいろな科学工作を作ろう・体験しよう～

身近な素材を使った科学工作が大集合し、研修室がにぎわいました。講師は群馬大学工学部、桐生市立西小学校の丹羽孝良先生とぐんま昆虫の森、当館スタッフが参加しました。



群馬大学理工学部山田・坂主研究室では、2つの紙コップを合わせゴムを使って不思議に変化しながら飛んでいく工作「紙コップ兄弟」を、学生にコツを教わりながら親子で夢中になって飛ばしていました。

科学講座でもおなじみの丹羽先生の「リングキャッチャー」

では「やったー！」と拍手の音が。どうやら成功者が出了ようです。

ぐんま昆虫の森のチョウクラフトは高いところから手を離すと自然にひらひら飛んでいくので、小さなお友だちも繰り返し飛ばして

いました。また、カブトの幼虫やニジイロクワガタも出張してくれていて、お世話の仕方などを教えて頂きました。木に止まったままの大きなヘラクレスオオカブトに「これは本物？」などと言いながら、おそるおそるさわっていました。

児童会館の仕掛けおもちゃ「ニコラの卵」では、がんばって作って大人達をおどろかせ、喜んでいるお友だちもいました。普段あまり見ることの出来ないクワガタぐんまちゃんとにかくっとちゃんも登場し、会場までお客様を誘導してくれました。

様々な施設から来てくれた先生方と子どもも大人もふれあいながら楽しかったようでした。



児童健全育成講演会

「危険なネット時代！子どもたちを守る基礎知識」

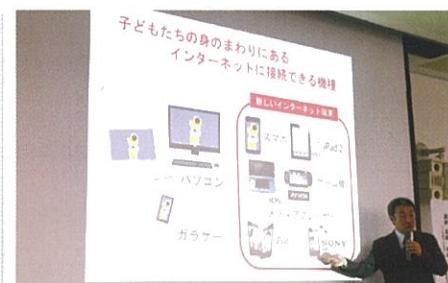
ぐんまこどもの国児童会館では、児童館の先生や児童の健全育成に関わる方々を対象に、子どもを取り巻く様々な課題や時々の話題を取り上げ、児童の健全な育成を支援する講演会を年1回開催しています。

今年度は、情報リテラシー、子どもたちのスマートフォンやインターネット事情について、NPO法人ぐんま子どもセーフネット活動委員会事務局長の高橋祐紀先生を講師に迎え講演をしていただき、県内各地から、児童館や学童クラブの先生、民生委員児童委員や保健師の方、一般の方等50人の参加がありました。

講演では、知っておきたいネットの危険な特性のひとつとしての“デジタルタトゥ”という言葉を紹介していただきました。ネットに載せられた情報は拡散し、いつまでも残るので、情報を安易にのせないこと、子どもたちがトラブルに見舞われないように家庭でのルールづくりをすること、不幸にもトラブルに巻き込まれてしまった時は、必ず子どもは周囲の大人に相談すること、そして相談された大人は、子どもの言葉にきちんと耳を傾けることを学び確認し合いました。

高橋先生は、スマートフォンやインターネット等の通信機器はたいへん便利なものなので、各々が足を引っ張り合うために使うのではなく、助け合い励まし合うために使うものであってほしいと仰っていました。

参加者は講演に真剣に耳を傾けるほか、実際にタブレットで体験できる時間を使って、無料通信アプリ「LINE」やツイッター等を興味深く体験していました。



多世代交流

「おとなもこどももみんなであそぼう！」

多目的ホールを会場に、なわとびやフラフープ、両手回し、バドミントンなど、こどもから大人までみんなで遊べる遊具での自由遊びのほか、「イス取りゲーム」や「○×ゲーム」、「ウラウラゲーム」などの集団ゲームを行いました。



外はあいにくの雨でしたが、遊びに来てくれたお友達と一緒に、お父さんお母さん、おじいちゃんやおばあちゃん、そして児童会館のボランティアも混じって、わきあいあいといろいろなゲームを楽しみました。



「イス取りゲーム」では、元気いっぱいのお友達やお母さんが参加してくれて、判定が難しいことがあったほど、白熱したイスの取り合いになりました。

また、白と黒のチーム対抗戦で、制限時間内に白黒のコマを自分のチームの色に変えて獲得した枚数を競う「ウラウラゲーム」では、参加していた大人もお友達も真剣そのものでした。まわりで応援しながら見ていた方々も、とっても盛り上がっていました。

親子で体を動かして思い切り遊んだり、知らなかったお友達同士がいろいろなゲームを通して仲良くなれたりと、楽しい時間を過ごせた1日でした。

